

## 令和5年度 桜井の里福社会

### 職場風土向上規則改正委員会 法人総括

今年度も満足調査を含めたアンケートを実施し、職員個人又は部署として、どのような取り組みをしていたか、振り返りの場として職員の皆様にご協力頂き、その意見や内容について、まとめましたのでご報告させていただきます。

#### 【ノー残業デイについて】

委員会としては各部署でノー残業デイを設定し、ポスターを作成、掲示することで「ノー残業」への意識を持ってもらう取り組み行なってきました。

また、法人からも出退勤の打刻については15分以内という周知がされており、法人全体として必要以上に残業することなく、退勤するという意識付けはできている。

以上のことから、「ノー残業デイ」に対する取り組みについては一定程度の役割りは終えたものとする。

#### 【給与・手当について】

各種手当の増額や新設をして頂き、1年1年働きやすい環境になっているとの声も聞かれています。ただ、毎年「60歳を迎えると給料が下がる。行う業務は変わらないのに・・・」といったご意見を頂く。給与体系について趣旨、目的について説明の場を設け法人、職員お互い共通理解を持つ必要があるのではないか。また、原資が限られている中ですが、交通費増額、被服手当の増額等の経済状況に対応した手当の検討もお願いできればと思います。

#### 【体を大切にす取り組みについて】

福祉用具を使用することで、体への負担は少なくなっていると思うがご利用者の状態により、必要な機器の検討をしていく必要がある。日々の取り組みとして、腰痛予防体操の実施があるがしっかり行えていない部署もある。福祉用具の活用、介助方法の確認を行い腰痛予防へのケアをしっかり行っていく必要がある。

部署、業務内容によっては、体を大切にするための取り組みに違いはあると思うので各部署でこういったところに注意していかなければならないかについても確認しておく必要がある。

### 【メンタルヘルスについて】

今年度、初めて職員の皆さまの気持ちに寄り添った支援できればと思いメンタルヘルスについてのアンケートを実施致しました。

アンケート内容としては、生活全般において心の健康が保ててますか？

どのような場面でストレスを感じたりメンタルヘルスが損なわれていると感じますか？

といったもので満足度の指標ついて問うものではありませんでした。

「人手不足についてストレス」、「同僚への指導方法について悩んでいる」といった意見も頂きましたが、意見の空欄の方が多く少し回答しづらかったかと感じています。

メンタルヘルスについてのアンケートは、外部事業者によるアンケートもあるため委員会としては行う必要はないとの結論に至る。

引き続き、各部署で職員の気持ちに寄り添いながら業務を遂行していかなければならない。

### 【年休について】

部署によって取得しやすさに差があるとの意見は継続し聞かれています。また、10 時間夜勤によって公休は増えたが、年休が取りにくくなったとの声もあります。

限られた人員の中で今一度勤務のあり方、業務の内容を見直し、生産の向上を図ることで年休取得のアップにつながるのではないかと。

その為には、まず職員一人一人が仕事に対する考え方を見直し、自ら部署での課題は何かについて考えていくことが大事になってくると考える。

### 【その他】

人事考課について、労力がかかる割にはモチベーションに繋がらない、評価の言葉が実際の評価に繋がっていない、目指している職員像に近づけるように動機づけを行って欲しいとの声が上がっています。人事考課を含めた人材育成について、職員一人一人を含めた法人全体で考えていくことが大切だと考える。

### 【全体を通して】

アンケートの満足度調査では、ノー残業デイ、体を大切にする取り組み、年休取得についての満足が7割～8割程度得ており、給与・手当については満足、不満の割合がほぼ半々となっています。

今までも手当の新設や増額等をして頂き感謝しております。

今後も法人として、職員一人一人に寄り添ったサポートをして頂ければと思います。

委員会としても、職員から頂いた意見をもとに働きやすい職場づくりについて共に考えていきたいと思っております。